

核都市広域幹線道路

(埼玉新都心線～東北道付近)

よくあるご質問

— 目 次 —

令和6年8月時点

Q1	核都市広域幹線道路とはどのような道路ですか？
Q2	核都市広域幹線道路は環状道路になるのでしょうか？
Q3	核都市広域幹線道路の基本構造を教えてください。
Q4	核都市広域幹線道路は有料道路になるのですか？
Q5	今後の事業スケジュールについて教えてください。
Q6	複数のルート案はいつ頃に示される予定ですか？
Q7	概略計画では何を定めるのでしょうか？
Q8	核都市広域幹線道路が完成するとどのような効果があるのでしょうか？
Q9	核都市広域幹線道路の整備により、埼玉県南部の一般道で生じている渋滞は解消されるのでしょうか？
Q10	イベント時の渋滞の解消や救急医療支援について、道路整備のみならず、施設側での取組みも検討するのでしょうか？

核都市広域幹線道路

(埼玉新都心線～東北道付近)

よくあるご質問

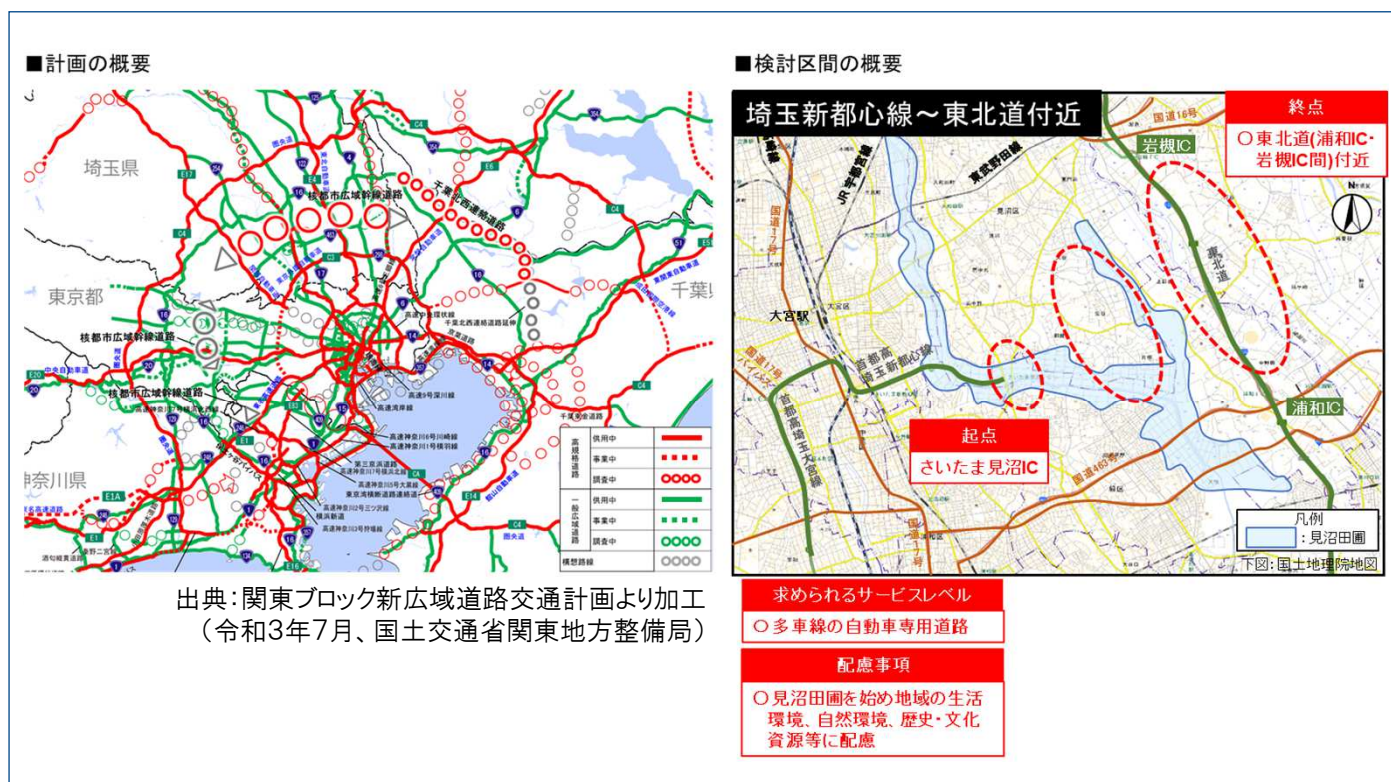
— 目 次 —

Q11	東北道(浦和インターチェンジ～岩槻インターチェンジ間)に新たにインターチェンジを追加することは、危険ではありませんか？
Q12	核都市広域幹線道路の整備により、見沼田圃を活かす方策を考えてみてはいかがでしょうか？
Q13	見沼田圃の自然環境や、生態系を保全してもらえるのでしょうか？
Q14	核都市広域幹線道路の整備によって、「見沼田圃基本計画」や「環境基本計画・さいたま水と生き物プラン」にある「すぐれた重要な価値」を損傷してしまうのではないのでしょうか？
Q15	さいたま東部地域には公共交通がないため、公共交通網の充実や路線バスの利用促進など、取り組んでももらえるのでしょうか？
Q16	将来的に人口や自動車保有台数は減少していくなかで、核都市広域幹線道路の整備は不要ではないのでしょうか？
Q17	多額の税金投入は無駄ではないのでしょうか？
Q18	なぜ、検討会の名称が「東西軸道路」から「核都市広域幹線道路」に変更されたのでしょうか？
Q19	これまでに公表している資料はどこで見られるのか知りたい。

Q1 核都市広域幹線道路とはどのような道路ですか？

A1

- 核都市広域幹線道路とは、圏央道と東京外環道の間に並行するように位置しており、神奈川県、東京都、埼玉県、千葉県を相互に連絡し、これらの交流・連携を促進する広域道路ネットワークとして計画された道路です。
- このうち、埼玉新都心線～東北道付近間は、埼玉県圏央道以南地域における慢性的な混雑の改善、および、物流施設の立地や人口集積が進む圏央道と東京外環道間の東西方向の連携を強化することを目的に、優先的に検討を進めている区間です。
- 求められるサービスレベルは、多車線の自動車専用道路としております。



出典：第1回核都市広域幹線道路(埼玉新都心線～東北道付近)
地元検討会資料 一部抜粋

Q2 核都市広域幹線道路は環状道路になるのでしょうか？

A2

○ 核都市広域幹線道路が環状道路となるかは未定です。

Q3 核都市広域幹線道路の基本構造を教えてください。

A3

○ さいたま見沼インターチェンジ～東北道（浦和インターチェンジ～岩槻インターチェンジ間）付近については、多車線の自動車専用道路を検討していくこととしておりますが、基本的な構造や計画諸元（概略延長、車線数、設計速度等）、ジャンクションやインターチェンジの有無も含め、検討を進めてまいります。

Q4 核都市広域幹線道路は有料道路になるのですか？

A4

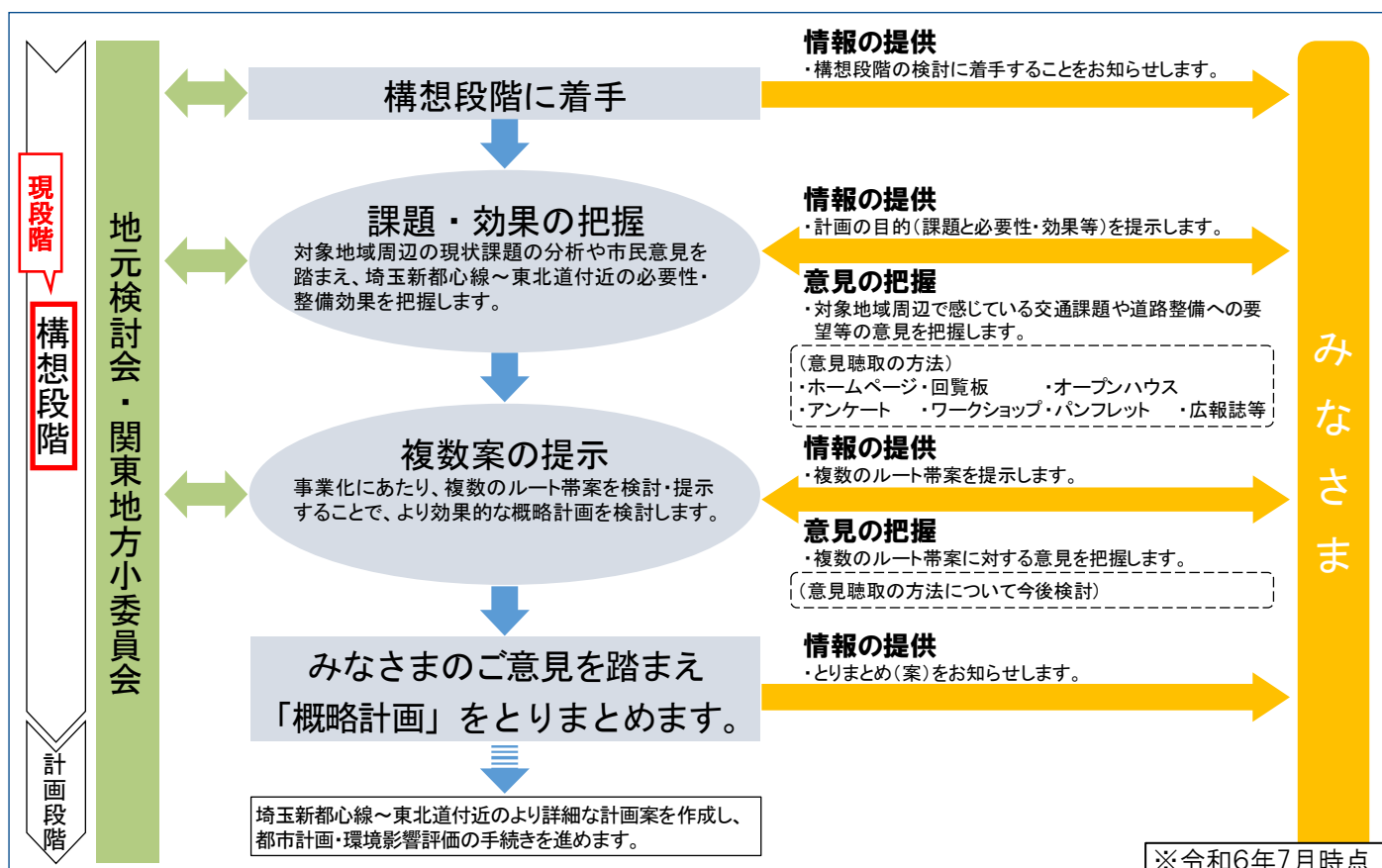
○ 核都市広域幹線道路が有料道路になるかは未定です。

Q5

今後の事業スケジュールについて教えてください。

A5

- 令和5年度は、「課題・効果の把握」の段階として、①計画検討の進め方、②埼玉県圏央道以南地域の交通課題、核都市広域幹線道路(埼玉新都心線～東北道付近)の必要性について、検討およびコミュニケーション活動を行い、「計画検討の進め方」や「課題・目的」をとりまとめました。
- 令和6年度以降は、「複数案の提示」の段階として、③複数ルート帯案と評価項目の設定、④複数案の比較評価、⑤概略計画案の選定および対応方針の決定を行う予定であり、引き続き皆様に情報提供・意見聴取を行っていきます。
- なお、現在は、構想段階であり、完成時期や工事期間については未定となっております。



出典：第1回核都市広域幹線道路(埼玉新都心線～東北道付近)
地元検討会資料 一部抜粋

Q6 複数のルート案はいつ頃に示される予定ですか？

A6

- 令和6年度以降、複数のルート帯案（実際の道路幅より広い幅250m～1km程度の計画範囲）等について皆様に情報提供させていただくとともに、ご意見を伺いながら概略計画をとりまとめていく予定です。

Q7 概略計画では何を定めるのでしょうか？

A7

○ 概略計画において定める事項は、起終点、計画諸元、構想ルート帯、主な連結する道路、主たる構造、その他必要な事項等です。

- ①起終点 : 当該路線の起点及び終点の所在地の市町村名を記載します。
- ②計画諸元 : 計画する道路の概略延長、標準車線数及び設計速度(単位:km/h)を記載します。
- ③構想ルート帯 : 概ね1/25,000～1/50,000 の縮尺の図を用い、計画する路線の位置を概ね250m～1km程度の幅を持つルート帯で図示します。
- ④主な連結する道路 : 当該計画道路に連結する、あるいは連結する予定のある主な道路について、その連結位置が所在する予定の市町村名及び連結する道路の名称を記載し、ルート帯上に図示します。
- ⑤主たる構造 : 計画する道路の構造を盛土・切土、トンネル、橋もしくは高架、その他の構造の別に区別して記載します。
- ⑥その他必要な事項 : 詳細計画段階において考慮すべき事項がある場合には、その旨を記載します。

出典：構想段階における道路計画策定プロセスガイドライン一部抜粋
(平成25年7月 国土交通省 道路局)

Q8

核都市広域幹線道路が完成するとどのような効果があるのでしょうか？

A8

○ 核都市広域幹線道路の整備により、主に下記の効果が期待されます。

- (1) 幹線道路の渋滞緩和
- (2) 幹線道路の交通事故減少
- (3) 地域経済の活性化
- (4) 救急医療施設への搬送時間短縮
- (5) 災害時における機能・安全性の確保
- (6) 観光の活性化
- (7) 生活環境の向上 等

○ 今後、最大限の効果が発現するよう、計画・検討を進めてまいります。

・ 詳細は下記をご参照ください。

核都市広域幹線道路(埼玉新都心線～東北道付近)地元検討会
令和5年1月16日(月) 第1回検討会資料 資料-3

https://www.ktr.mlit.go.jp/ktr_content/content/000847871.pdf

Q9

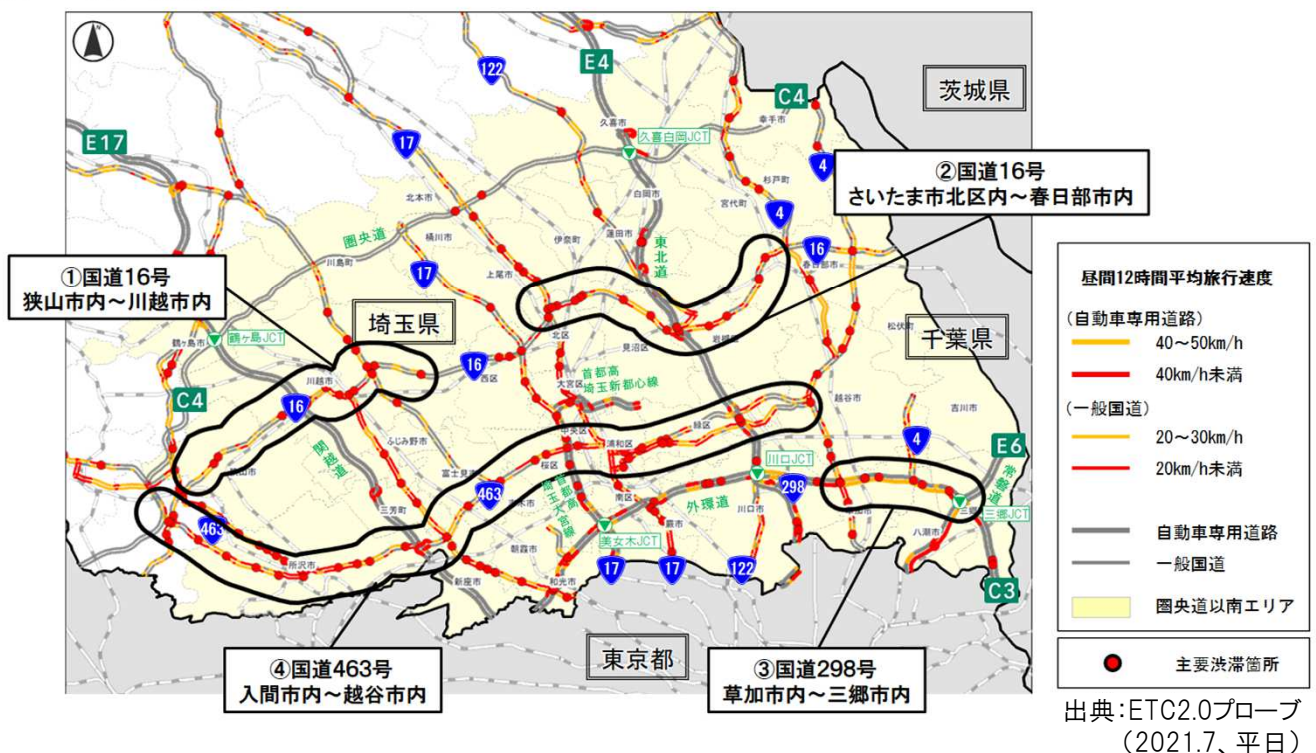
核都市広域幹線道路の整備により、埼玉県南部の一般道で生じている渋滞は解消されるのでしょうか？

A9

- 圏央道以南エリアでは、国道16号、国道463号、国道298号等、東西方向の幹線道路で速度低下が顕著であり、交通容量が不足していることを確認しています。
- 新しい道路が整備されると、東西方向の幹線道路から交通が転換され、交通渋滞が緩和することが期待されます。
- 今後、最大限の効果が発現するよう、計画・検討を進めてまいります。

○東西軸では、国道16号の狭山市内～川越市内(①)とさいたま市北区内(国道17号)～春日部市内(国道4号)(②)、国道298号の草加市内(国道4号)～三郷市内(常磐道)(③)、国道463号においては入間市内～越谷市内(④)の広い範囲で速度低下が顕著である。

■昼間12時間平均旅行速度



出典:第1回核都市広域幹線道路(埼玉新都心線～東北道付近)
地元検討会資料 一部抜粋

Q10

イベント時の渋滞の解消や救急医療支援について、道路整備のみならず、施設側での取組みも検討するのでしょうか？

A10

- 施設側でできるソフト対策や道路行政としてできる対策、いずれの観点からも検討することは重要であり、双方の視点を踏まえながら検討を進めてまいります。

Q11

東北道(浦和インターチェンジ～岩槻インターチェンジ間)に新たにインターチェンジを追加することは、危険ではありませんか？

A11

- 東北道(浦和インターチェンジ～岩槻インターチェンジ間)への新たなジャンクションやインターチェンジの追加については、道路構造令等の基準に基づき、今後検討を進めてまいります。
- また、接続位置についても、走行性や安全性、構造、道路ネットワーク等、多様な観点から検討を進めてまいります。

埼玉新都心線～東北道付近



出典: 第1回核都市広域幹線道路(埼玉新都心線～東北道付近)
地元検討会資料 一部抜粋

Q12

核都市広域幹線道路の整備により、見沼田圃を活かす方策を考えてみてはいかがでしょうか？

A12

- 見沼田圃は、大規模な緑地空間であり、自然環境の保全、創造に配慮する必要があると考えています。
- 学識経験者の助言や地域の皆様の意見を伺いながら、検討を進めてまいります。



出典：「見沼たんぼ全域マップ」さいたま市

Q13 見沼田圃の自然環境や、生態系を保全してもらえるのでしょうか？

A13

- 見沼田圃は大規模な緑地空間であり、自然環境や生態系に配慮する必要があると考えています。
- 学識経験者の助言や地域の皆様の意見を伺いながら、検討を進めてまいります。

Q14

核都市広域幹線道路の整備によって、「見沼田圃基本計画」や「環境基本計画・さいたま水と生き物プラン」にある「すぐれた重要な価値」を損傷してしまうのではないのでしょうか？

A14

- 見沼田圃は大規模な緑地空間であり、自然環境や生態系に配慮する必要があると考えています。
- 「見沼田圃基本計画」、「環境基本計画・さいたま水と生き物プラン」にある「首都圏に残された貴重な大規模緑地空間としての役割」に配慮しながら、本道路の計画の検討を進めてまいります。
- また、検討にあたっては、学識経験者の助言や地域の皆様の意見を伺いながら、計画を進めてまいります。

Q15

さいたま東部地域には公共交通がないため、公共交通網の充実や路線バスの利用促進など、取り組んでもらえるのでしょうか？

A15

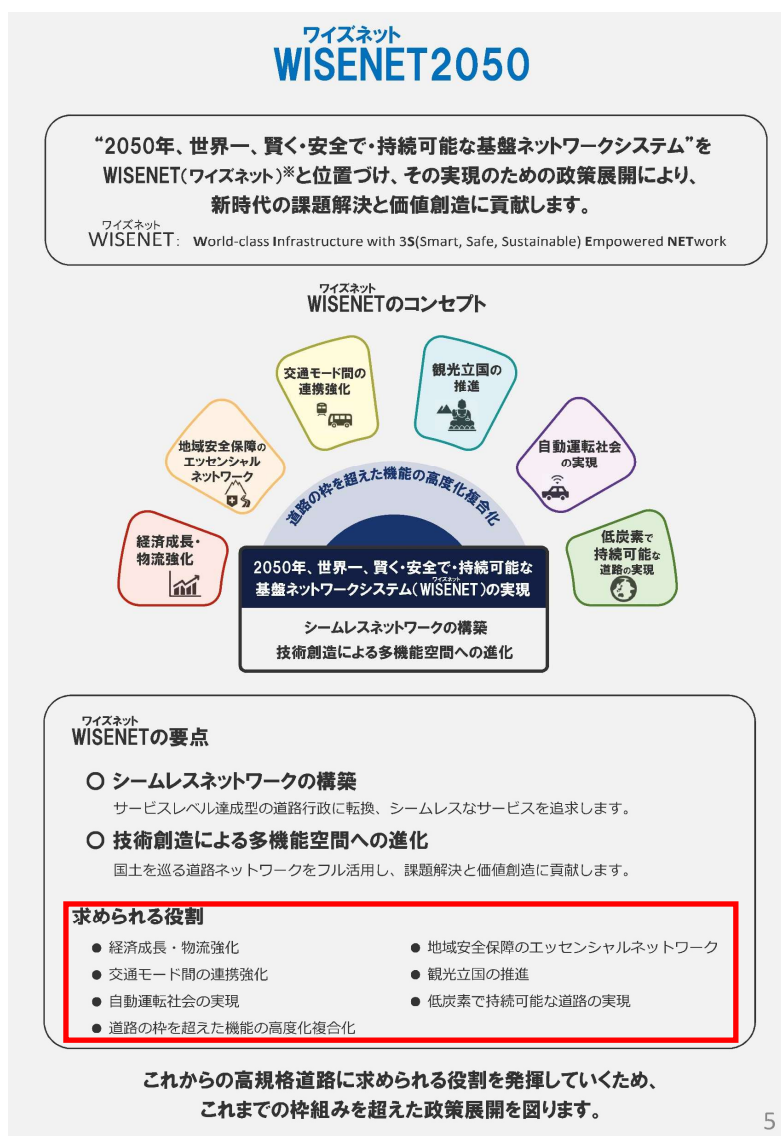
- 公共交通の利用促進は、道路行政として重要と認識しております。
- さいたま市では、地域公共交通計画(令和4年12月 都市局 都市計画部 交通政策課)を策定し、さいたま市の望ましい公共交通網の実現に向けて施策を実施しております。

Q16

将来的に人口や自動車保有台数は減少していくなかで、核都市広域幹線道路の整備は不要ではないでしょうか？

A16

- 将来の交通状況や社会的に求められる道路の役割、また道路ネットワーク上の位置付けを踏まえ、核都市広域幹線道路における概略計画の検討を進めてまいります。
- 社会的に求められる道路の役割とは、たとえば、交通モード間の連携強化や自動運転社会の実現など、これからの高規格道路に求められる役割を想定しています。



Q17 多額の税金投入は無駄ではないでしょうか？

A17

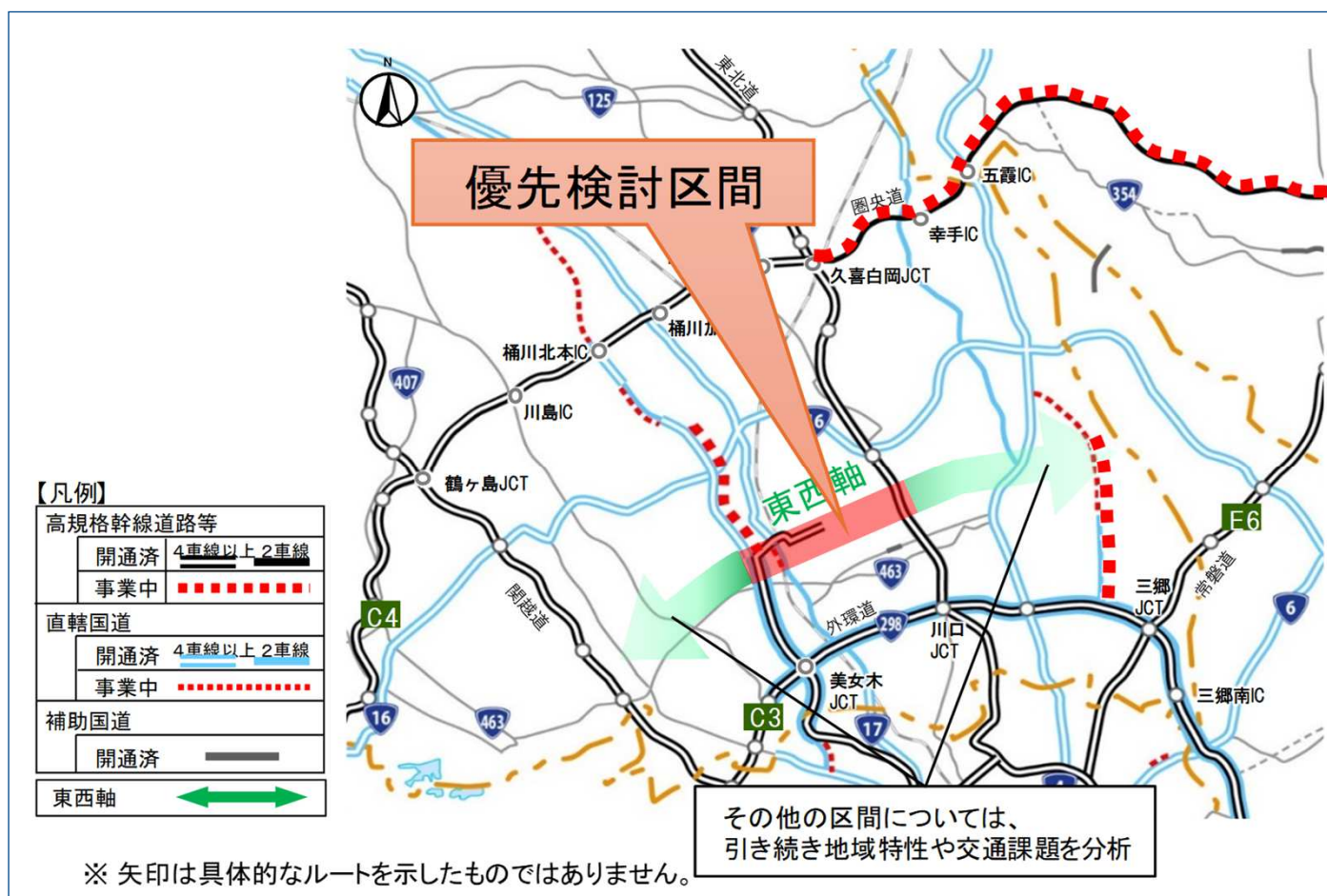
- 建設費用については、ルート帯および構造が決まっていないため、現時点では未定となっております。
- 新しい道路が整備されると、渋滞緩和や時間短縮といった効果発現が期待される他、ネットワークを形成することで、例えば災害時において、複数の緊急輸送ルートを確保する等、多様なストック効果が発現することを踏まえて計画・検討を進めてまいります。

Q18

なぜ、検討会の名称が「東西軸道路」から「核都市広域幹線道路」に変更されたのでしょうか？

A18

- 「東西軸道路」は、埼玉県東西軸道路検討会(令和3年12月)において圏央道以南地域の東西方向の交通課題について検討した際に東西方向のネットワーク全体を呼称したものです。
- そのうち個別路線である「核都市広域幹線道路」を優先検討区間として検討を進めることになったことから、地元検討会において、「東西軸道路」を「核都市広域幹線道路」に変更しております。



出典：埼玉県東西軸道路検討会資料一部抜粋

Q19 これまでに公表している資料はどこで見られるのか知りたい。

A19

- これまでの資料は「核都市広域幹線道路ポータルサイト」で公表しています。
https://www.ktr.mlit.go.jp/oomiya/oomiya_index070.html
- 上記ポータルサイトでは、計画の進捗・協議会の実施状況・コミュニケーション活動の詳細をご確認いただけます。